

7月9日

18:00 鍼灸治療6診目

金曜(7月5日)の反動で、土日にしんどくなって、それから食べられない。もう、怖くて食事したくない。
嘔気はない。

脈診:腎弦、脾無力・微弦

触診:右公孫緊張、右外関緊張

☆治療部位

<毫鍼>太溪、右公孫、右外関、右三陰交

<円皮鍼>左気戸、太溪、右公孫

【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価
説明するも「難しい」とのことで、VAS/NRS 評価は使用しない
- 患者コメント
3診目:ゲップもムカつきも前より減ってきた。
4診目:
*もう、ゲップも、吐き気もないです。今日ね、ご飯食べれた。
*鍼してもらってから、吐き気もゲップもなくなった。ここ2~3日楽になって。何か食べたい気分。レストラン連れて行って。
*ほとんど食べた。エビフライと大根のやつ、カレーも食べた
5診目:今日、レストラン行って食べてこられたし、ゲップもムカつきもないで。
- 家族コメント
特記なし
- 医師・看護師・医療スタッフの印象
1診後:夕食半分程度摂取できており、嘔気軽減しているよう。
1診+1日:14時の昼食摂取後、訪室時、嘔気なく過ごしている。

【総括】

1診目後より食事の5割摂取するも、嘔気および嘔気は軽快傾向であった。4診目後には完全に症状が消失したことで、レストランに行き、海老フライ、カレーを摂取できるほどまでいった。しかし、急に大量に摂取したことにより、2日後より強い嘔気と倦怠感を訴える。続けて、転倒するなど加わり、精神的に食事に対する恐怖を抱くなるようになってしまった。今回、嘔気に対しては鍼灸治療は有効であったが、症状改善したと言って、胃に負担になるものを食べないように患者指導も必要であった症例であったと考える。

20130010 (NO. 60)

【患者】84歳、男性

【既往歴】心筋梗塞、慢性心不全、糖尿病、冠状動脈バイパス術後、気管支喘息、肺炎治療後

【病態】膵癌

【ターミナル期】ターミナル前期

【現病歴】

膵癌にて消化器内科で2012/11/15より、化学療法開始(GEM単剤、2投1休)X年6月からGEM13コース終了。その後、肺炎を発症したため4月末~5月まで入院に至った。今回、腹水出現(腹膜播種?)、食欲低下、倦怠感著明、低栄養状態にて、全身状態悪化傾向であった。しかし、化学療法時のステロイドの影響か、一時的楽になるという事で治療を継続していた。6月末から便秘、食欲低下、倦怠感、呼吸困難あり、緊急搬送となった。

【服薬状況】

アセトアミノフェン、センソシド、フェンタニルクエン酸塩

【鍼灸治療目的】

排便コントロールおよび腹膜播種による癌性疼痛に対して依頼された。

【東洋医学的所見】

胸脇苦満、両足陽明経緊張、腎経軟弱、軽度認知症あり。

脈診:腎無力、脾滑。足背冷え・浮腫

【弁証】肝脾不和、腎陽虚、気滞・血瘀

【鍼灸介入期間】14日間

【鍼灸治療回数】4回/週、7回

【転帰】中止(のちに逝去)

【鍼灸最終日~転帰】47日間

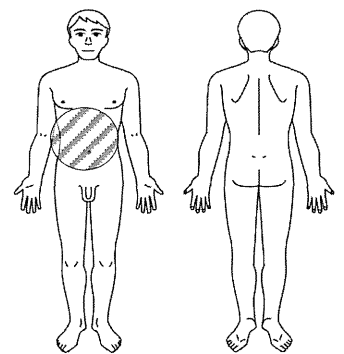
【評価】評価説明するが理解が得られなかったため、医療スタッフによる印象評価をカルテから抜粋し、評価とした。

【鍼灸治療最終評価】

- 1) 整腸: 有効
- 2) 腹痛: 有効

【治療経過】

7月4日



4 : 30 腹痛 NRS=3~4。アセトアミノフェン 1錠使用。
17 : 30 鍼灸治療 1 診目
目的：排便コントロール
ズーンとして気持ちいい。これなら続けられそう。

脈診：腎無力、脾滑

触診：足背冷え・浮腫

☆治療部位

<毫鍼>右足三里、太溪、右外関

<円皮鍼>右外関

21 : 00 下痢しとる。センノシドスキップする。

7 月 5 日

16 : 00 便は大丈夫や。1 回しか出てない。

17 : 00 鍼灸治療 2 診目

鍼してから調子ええように思う。分離している感じがする。
この辺（腹部）がグシャグシャなつとるんや、その痛みが
分離しとる感じがする。（痛みが薄くなった感じなんです
か？）そうや。痛みが薄くなった感じ。

脈診：腎・脾弦

舌診：紅舌、瘀点、舌尖紅、舌下静脈怒張

触診：右足三里緊張、右外関深部硬結

☆治療部位

<毫鍼>右足三里、右外関、太溪、左三陰交

<円皮鍼>太溪、右外関

20 : 00 鍼してもらってから調子ええ。便は固まってきた。
レスキュー使用回数：0 回

7 月 6 日

19 : 30 痛くないけど、痛くなったらかんし飲んどく。

23 : 00 今日鍼ないんか？夜に来てくれたんや。言動注意。
レスキュー使用回数：2 回

7 月 7 日

11 : 30 便の調子が悪いんや。軟便続いていることに不安
レスキュー使用回数：1 回

7 月 8 日

14 : 00 腹がしんどい。痛みもある。腹部の張りを訴える。(NRS=8)
レスキュー使用回数：1 回

7 月 9 日

13 : 00 素麺食べ始めたら、痛くなり始めて (NRS=5)、今はもっと
痛くなった (NRS=7)。

17 : 30 鍼灸治療 3 診目

何やちょっと日曜からお腹の調子がえらかったんや。

脈診：脾・腎弦、腎無力

触診：足背浮腫。左地五会圧痛、左内関緊張

☆治療部位

<毫鍼>左復溜、右三陰交、右行間、左地五会、左内関
<円皮鍼>太溪、右行間
<e-Q>足三里、太溪
レスキュー使用回数：1 回

7 月 10 日

17 : 30 鍼灸治療 4 診目

排便の話をする、「そんなことはええやないか」と話を逸
らされる。

脈診：脾滑、腎微弦、細

触診：足三里緊張 (R>L) 圧痛 (R<L)

☆治療部位

<毫鍼>足三里、左復溜

<円皮鍼>右内庭、右外内庭、右侠溪、左太溪

レスキュー使用回数：2 回

7 月 11 日

16 : 00 あーしんどい。色々言われるとしんどい。

16 : 30 鍼灸治療 5 診目

薬飲んだ後やけど、また（鍼は）違う感じやな。

脈診：肝・腎無力、脾洪

触診：胃経緊張、太溪軟弱、右太衝軟弱、胸脇部緊張。

☆治療部位

<毫鍼>足三里、右太衝、右太溪、右三陰交

<鍍鍼>腹部

18 : 00 オキシコドン塩酸塩水和物散 5mg
フェンタニルクエン酸塩 2mg に UP
レスキュー使用回数：2 回

7 月 12 日

14 : 00 今日痛くないし、気持ちええ。

17 : 00 鍼灸治療 6 診目

今は痛くない。

脈診：腎無力、脾弦

触診：足三里緊張、足背浮腫軽減

☆治療部位

<毫鍼>足三里

<鍍鍼>腹部

レスキュー使用回数：1 回

7 月 13 日 レスキュー使用回数：0 回

7 月 14 日 レスキュー使用回数：0 回

7 月 15 日

8 : 30 痛いから痛み止めをもってきてくれ！！
レスキュー使用回数：2 回

7 月 16 日

10 : 00 便は出とらん、でもこれでいいんや！！

17:30 鍼灸治療 7 診目

もうええんと違う？（何がですか？）もう 1 週間も鍼しとるし、もう終わりにしてもらってもええんちゃう！？イライラした様子が見受けられる。

脈診：脾渋

☆治療部位

〈毫鍼〉右足三里、左太溪、右外関

患者希望により、鍼治療介入終了とする

7 月 17 日

11:00 自然排便あり

7 月 18 日

13:00 疼痛の訴えはない

7 月 19 日

9:00 だんだん痛くなる。腹痛の訴えあり

レスキュー使用回数：1 回

7 月 20 日

12:00 疼痛の訴えあり

レスキュー使用回数：1 回

7 月 21 日

10:30 シワシワ痛くなる。今は痛くないけど…。

レスキュー使用回数：3 回

【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価
認知症もあり、VAS、NRS、FS の説明をするも理解得られなかったため、患者コメントおよびレスキュー使用回数から評価する。
- 患者コメント
2 診目：鍼してから調子ええように思う。分離している感じがする。この辺（腹部）がグシャグシャなるとるんや、その痛みが分離しとる感じがする。（痛みが薄くなった感じなんですか？）そうや。痛みが薄くなった感じ。
- 家族コメント 特記なし
- 医師・看護師・医療スタッフの印象 特記なし

【総括】

本症例は排便コントロールのため、鍼治療介入した。介入前、便がでない場合は下剤服薬させていたが、介入後からは服薬なく、普通便～軟便にて排便コントロールできたことから、有効と診断した。それ以外には、腹膜播種に伴う、癌性疼痛が緩和されたことから腹膜播種による痛みに対し、有効であると言える。長期入院によるストレスによる影響か、認知症悪化によるものか不明ではあるが、攻撃的な強い口調にて鍼灸治療の終了を希望されたため、中止となった。

20130011 (NO. 61)

【患者】67 歳、男性

【既往歴】胃潰瘍 3/4 切除

【病態】食欲不振

【ターミナル期】特記なし

【現病歴】

X 年 4 月末、作業中に 2m の高さから転落。

腰を強打。両下腿のしびれがあり、本院整形外科に入院となった。入院後、嘔気・ムカつき症状が出現し、食欲低下となった。

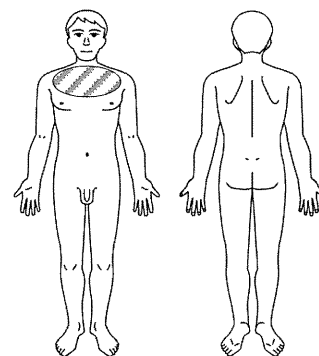
内服にてムカつき止めを出すも、「効果ない」と。胃カメラ等を行うも、器質的原因が見つからないため、内科医より鍼灸治療介入の依頼があった。6 月 28 日～7 月 5 日まで嘔気に対して治療を行っていた。嘔気は改善し、食べ過ぎによる嘔気に伴い、食欲低下が認められたため治療目的を変更した。

【服薬状況】

服薬なし

【鍼灸治療目的】

精神的緩和（イライラ）を目的に継続依頼された。



【東洋医学的所見】

るいそう。脈診：脾滑、肝・腎無力、舌診：紅舌、舌尖紅、白苔（舌中のみ膩苔）。右公孫緊張、左太溪軟弱、右内関緊張圧痛、左太衝軟弱。

【弁証】肝脾不和、腎気虚

【鍼灸介入期間】52 日間

【鍼灸治療回数】4 回/週、23 回

【転帰】退院

【鍼灸治療最終日～転帰】1 日間

【評価】評価説明するが理解が得られなかったため、医療スタッフによる印象評価をカルテから抜粋し、評価とした。

【鍼灸治療最終評価】

1) 食欲増進（精神的不安感）：やや有効

【治療経過】

7 月 10 日

13:30 嘔気は消失しているが食思は全くない。朝・昼

ともに摂取されず。

17:00 鍼灸治療 1 診目
食べたいという気にもならん。お腹もすかない。
夜も眠れていない。
脈診：脾滑、肝・腎無力
舌診：紅舌、舌尖紅、白苔（舌中のみ膩苔）
触診：右公孫緊張、左太溪軟弱、右内関緊張圧痛、左太衝軟弱。

☆治療部位
〈毫鍼〉右公孫、左太溪、右三陰交、右内関、左太衝
〈円皮鍼〉左太溪、右内関、左気戸、右三陰交

7月11日

10:00 食思なく、クッキー、キャラメルを食べている。
嘔気はない。

17:00 鍼灸治療 2 診目
いつもの事。食べたいと思わない。お風呂にはいったらちよつと疲れた。
脈診：腎無力、脾微弦
触診：左足三里表面軟弱・深部緊張、右公孫緊張、左気戸圧痛

☆治療部位
〈毫鍼〉左足三里、右公孫、右三陰交
〈円皮鍼〉陽池、左気戸、右三陰交

7月12日

10:00 クッキー一枚だけ食べれた。

15:00 うどんの汁がまずい。食べたらムカムカする。2口食べた。

17:30 鍼灸治療 3 診目
何でも食べたいが食べられない。アイスは好き。
脈診：腎・肝虚、脾やや渋
触診：左内関軟弱、左足三里緊張

☆治療部位
〈毫鍼〉左足三里、太溪、右合谷、左外関
〈鍬鍼〉右公孫
〈円皮鍼〉左気戸、左内関

7月13日

12:00 嘔吐しているというが、ガーグルベース使用している様子はない。吐くことを恐れて食べていない？

7月14日

15:00 吸水を勧めたところ、「飲んだ」と言われ飲んだ形跡はない。

7月15日

12:00 3日間眠れていないと訴える。

7月16日

15:30 食事してもらうため、スタッフ1時間監視する。

17:30 鍼灸治療 4 診目

昨日から監視付きつてかなんわー。お風呂にはいろいろかどうしようか悩んだ時にムカムカしたくらい。嘔気なし。

脈診：脾弦、腎無力・微弦
触診：左気戸圧痛、右足三里表面緊張軟弱、太溪表面軟弱深部硬結、右公孫緊張

☆治療部位
〈毫鍼〉左外関、右足三里、太溪
〈鍬鍼〉右公孫
〈円皮鍼〉左気戸、太溪、右足三里、右内関

19:30 お粥10口食べる。

7月17日

17:00 鍼灸治療 5 診目
ムカつきはない。夜は眠れていない。昼はウトウトしているくらいで寝ていないと言われるが、夕方、訪室すると入眠している。
脈診：細、沈、脾腎弦
舌診：紅舌、舌下静脈怒張、舌尖紅
触診：右足三里緊張、右公孫緊張、太溪陥凹、右外関緊張、冷えあり。

☆治療部位
〈毫鍼〉右外関、右足三里、右公孫
〈e-Q〉足三里、太溪、三陰交、外関

21:00 排便なし。排ガスあり。お腹が張ってえらい。

7月18日

13:30 全てについて、やるきなし。入浴一連動作は全て自立であり安定している。

17:30 鍼灸治療 6 診目
昨夜のカルテ記載に「お腹が張ってえらい」とあり、確認すると、昨日お腹張った感じないと。昨夜は少し眠れ、食後のムカつきもなし。
脈診：無力、脾弦、腎微弦、細
触診：右足三里緊張、右外関緊張、右公孫緊張、足の冷えは昨日より軽減

☆治療部位
〈毫鍼〉右外関、右上巨虚
〈e-Q〉左太衝、足三里、公孫、外関

7月19日

15:00 トイレ後のお尻を拭くことも、看護師を呼ぶようになる。自分でできることも他人に依存してきている。

15:30 鍼灸治療 7 診目
冷えは軽減。食事もクッキー、キャラメルは摂取できたがそれ以外はできず。夜間は少し眠れた。
脈診：腎・肝無力、細、脾滑

触診：下腿冷え改善。右神門軟弱、右公孫表面緊張

☆治療部位

<毫鍼>右神門、右公孫

<e-Q>太溪、足三里

<円皮鍼>右神門、太溪

7月20日

18:00 嘔気があり、しんどさもあるだろうが、食事を10口食べるという事も守れていない。

7月21日

12:00 10口食べた後、もう一口と勧めると沈黙

7月22日

16:30 今後摂取増量に向けて10~15口にできないかときいても返事なし。

7月23日

17:30 鍼灸治療8診目

同じくらいだけど、食事量は少し増えたと思う。

脈診：脾微弦、腎無力

舌診：紅舌、胖大、舌中乾燥、厚苔

触診：内関圧痛

☆治療部位

<毫鍼>右公孫、左内関

<e-Q>足三里、陰陵泉

<鍬鍼>右太溪

<円皮鍼>太溪

7月24日

12:00 粥10口から15口に。補助食のジュース。バナナも摂取している。無理強いすると膈を曲げるのではない。

16:30 鍼灸治療9診目

今日はずっとムカムカしてゲップでる。しんどい。治療中は1回も嘔気なし。

脈診：虚、脾弦、腎無力

触診：右足三里緊張圧痛、右公孫緊張、左気戸軟弱圧痛

☆治療部位

<毫鍼>右外関、右足三里、右三陰交、左行間

<鍬鍼>右公孫、太溪

<円皮鍼>左気戸、左行間

7月25日

17:30 鍼灸治療10診目

ゲップがあるないに関わらず食事できない。昨日よりはマシな気がする。

脈診：脾滑、腎弦

☆治療部位

<毫鍼>左気戸、足三里、右太溪、右公孫

<円皮鍼>左気戸、左陥谷、左外陥谷、右内関

7月26日

16:30 鍼灸治療11診目

訪室時、3回嘔気あり、治療中は1回もない。

脈診：腎弦、脾滑

触診：足三里緊張、左太衝、右太溪軟弱、右公孫緊張

☆治療部位

<毫鍼>足三里、左太衝

<鍬鍼>右公孫

<円皮鍼>左太溪、左行間、右外関

7月27日

16:00 吐いたというが、ガーグルベース使用した形跡はなし。

7月28日

10:00 リハビリでは何も持たずに歩けるが、何故か病棟では車いす移動している。

7月29日

19:00 口にに入れて吐くといった行動を繰り返している。

7月30日

12:00 不満を大きい声で言いながら、粥を8割摂取する。

17:00 鍼灸治療12診目

かわらん。

脈診：胃・腎弦

触診：右不容圧痛、右気戸圧痛

☆治療部位

<毫鍼>右気戸、右不容、右足三里、左復溜

<円皮鍼>右衝陽、右不容

7月31日

11:00 鍼灸師には看護師に言えない事を言っている。

17:00 鍼灸治療13診目

かわらん。(お通じどうですか?)昨日か一昨日くらいに出たんと違う?

脈診：腎無力、脾弦

触診：右足三里緊張、右公孫緊張

☆治療部位

<毫鍼>右太衝、右公孫

8月1日

17:00 鍼灸治療14診目

あ、うん。あんまり変わらん。時折、こちらに視線を向けるが、何か言われるわけではない。

脈診：腎無力、肝弦

触診：左気戸圧痛、左足三里緊張、右太溪軟弱、右俠溪深部緊張

☆治療部位

<毫鍼>右太溪、右不容、左太衝

<鍤鍼>右公孫
<円皮鍼>左気戸、右侠溪、右不容、左行間
8月2日
18:00 鍼灸治療 15 診目
食事の事になると聞こえないふりをし、それ以外の質問には「うん」と短い返事やこちらに顔を向ける。
脈診：虚、無力
☆治療部位
<毫鍼>右足三里、左不容、右外関、太溪
<円皮鍼>太溪、右不容、右外関
8月3日 特に変わりなく過ごされる。
8月4日
19:00 16時～22時まで悪心があると訴える。
8月5日
13:30 吐き気あるも8～9割お粥摂取できる。
8月6日
17:00 鍼灸治療 16 診目
台に八つ橋が置いてあり、1つ無いも「食べてない」と。
脈診：胃弦、脾洪、肝・腎無力
触診：右公孫緊張、右不容圧痛、右気戸圧痛
☆治療部位
<毫鍼>右気戸、右不容、右太溪、左太衝、右足三里、右公孫
<円皮鍼>右不容、右太溪
8月7日
17:00 鍼灸治療 17 診目
17時頃から嘔気が出てくる。
脈診：脾滑、腎弦
舌診：紅舌、舌尖紅、薄白苔（舌中厚苔）
☆治療部位
<毫鍼>右太溪、右足三里、右公孫、左太衝
<鍤鍼>胸脇部
8月8日
17:00 鍼灸治療 18 診目
机に3本ジュースあり。毎食後についてきているものだが、朝昼とあと一本は？と尋ねると沈黙。
脈診：脾やや滑、腎無力
舌診：紅舌、舌尖紅
触診：右不容圧痛
☆治療部位
<毫鍼>右不容、右膝関、右太溪、右公孫
<鍤鍼>胸脇部
8月9日
16:30 鍼灸治療 19 診目

怠い…全身怠い。
脈診：腎無力、弦、脾やや滑
☆治療部位
<e-Q>太溪、足三里、太衝、三陰交
<円皮鍼>右不容、右太溪
8月10日
15:30 朝と昼は大丈夫。夕方になると吐くんや。
8月11日 著変なし。
8月12日
13:00 娘と本人に経口摂取では限界ありと判断している。
8月13日
18:00 入眠中のため、鍼灸治療中止
19:00 夜はあかんわ
8月14日
14:00 アルジネート 8割摂取
17:00 入眠中のため、鍼灸治療中止
8月15日
18:00 鍼灸治療 20 診目
点滴しとるから1時間おきにトイレ行くやろ？しんどいわ。
脈診：腎弦、細
☆治療部位
<毫鍼>右太溪、右公孫、左足三里
<円皮鍼>右太溪、右公孫
8月16日
14:00 泥状便あり
17:00 下痢のため鍼灸治療中止
8月17日
2:30 排尿、排便できているため、導尿カテーテルを行う
8月18日
12:30 栄養補助食（アルジネート）を摂取
8月19日 著変なく、過ごされている。
8月20日
16:30 入眠中のため、鍼灸治療中止
8月21日
17:00 鍼灸治療 21 診目
ムカつきある
脈診：脾洪、腎無力
☆治療部位
<毫鍼>右内関、左膝関、左太溪、右足三里、右三陰交
<円皮鍼>左気戸、右不容、左太溪
8月22日
18:00 鍼灸治療 22 診目
おう。ん？嘔気なくテレビを観ている。

脈診：脾・腎弦

触診：四肢冷えあり。足三里緊張、右三陰交深部緊張

☆治療部位

〈毫鍼〉足三里、右三陰交

8月23日

14:00 昼は粥4割、栄養補助食(アルジネート)を5割摂取する。

8月24日～25日 著変なし

8月29日

17:00 鍼灸治療23診目

明日出ていくしよかったのに。

(最後にさせてもらってもよいですか?)うん。そうだね。

脈診：脾滑

触診：胃経緊張

☆治療部位

〈毫鍼〉足三里、復溜、右外関

8月30日 退院

【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価
評価とれないため、看護師による印象評価とする。
- 患者コメント
特記なし
- 家族コメント
特記なし
- 医師・看護師・医療スタッフの印象
食事を食べたというが、ゴミ箱に捨ててあることや、自分でできることもスタッフを呼ぶなど、精神的依存も強くなった。

【総括】

前回、嘔気症状が改善した事により、カレーなど胃に負担のかかるものを食べた結果、嘔気が増した。食に対する恐怖心を抱いてしまった。食習慣に対する改善のために、スタッフによる食事時の見守りにより10口は最低食べるようになったものの、イライラは強い。

また、スタッフには「食べた」といい、実際にはゴミ箱に捨てられていた。入浴の際も自身で洗えていたが、「洗ってくれ」と言い、トイレでも「拭いてくれ」など強い依存が認められた。

このような依存的な症状に対しての鍼灸治療は非常に難しく、また食事量に変化がなかったため、鍼灸治療後は嘔気軽減が認められたため、やや有効と診断した。

20130012 (NO. 62)

【患者】75歳、男性

【既往歴】膀胱癌全摘(3/28)、膀胱癌再発(7/12)

【病態】膀胱癌再発

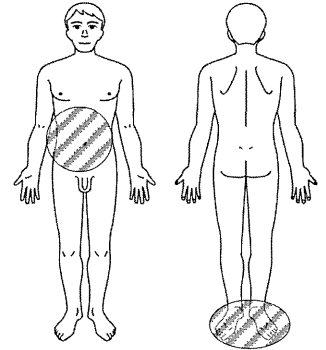
【ターミナル期】ターミナル前期

【現病歴】

7月29日 再入院

前回退院後、2か月は順調に経過していたが、左下肢が全体に浮腫を起こし、夕方から晩にかけて、下腹部の違和感を訴えた。座位にて会陰部に痛みを訴える(NRS=4)。

画像所見にてCIS再発(骨盤内多発)と診断。抗がん剤シスプラチンを施行するため、再入院となった。



【服薬状況】

エトドラク2錠/分2 400mg

アセトアミノフェン(錠)3錠/分3 600mg、

頓服アセトアミノフェン(錠)1錠

レスキュー：オキシコドン塩酸塩水和物2.5mg

【鍼灸治療目的】

膀胱癌再発により、再入院となった。退院後もしびれは継続しており、入院時より軽度悪化が認められたため、足背しびれ、整腸に対し鍼灸治療を依頼された。

【東洋医学的所見】

左足の裏は全部がしびれ、右足の裏は第1～3指がしびれる。17時頃から怠さが増悪する。脈診：沈、腎弦。触診：太溪陥凹、三陰交圧痛、右足三里緊張

【弁証】腎虚、気虚血虚、血瘀

【鍼灸介入期間】78日間

【鍼灸治療回数】4回/週、38回

【転帰】退院(再入院後、逝去)

【鍼灸治療最終日～転帰】4日間

【評価】Visual Analogue Scale(以下VAS)を使用した。その他、スタッフの印象評価と総合し、診断した。

【鍼灸治療最終評価】

- 1) 整腸：やや有効
- 2) 足背しびれ：著効

【治療経過】

7月29日

再入院。7月12日に膀胱摘出腔に再発をみとめる。

7月30日

11:00 エトドラク、アセトアミノフェン(錠)からオキシコドン塩酸塩(錠) 5mg2錠/分2。レスキューをアセトアミノフェン(錠)からオキシコドン塩酸塩水和物(散)2.5mgに変更する。

14:00 下腹部、会陰部につっぱり感あり。痛みはNRS=2程度。

レスキュー使用回数：0回

7月31日

7:30 オキシコドン塩酸塩(錠)飲んで21時~3時までよく眠れました。お尻の方はまだ痛いけど、今日は楽な日だと思う。

18:00 動注化学療法施行

(左内陰部動脈閉鎖動脈 CDDP50mg)

22:30 痛い時もあるけど、今はいたない。(NRS=)0か1。

8月1日

16:30 痛みは1くらい。時々お腹の膀胱あたりがキーンと痛くなるけど、それも(NRS=)2くらい

レスキュー使用回数：0回

8月2日

8:30 今は痛くないけど、日に日に下腹部が痛くなってる気がする。通じが出ていない(KOT:-3日)。

8月3日

7:00 寝てても、痛みなくなった。寝ていると(NRS=)0か1。

動くとき痛いけど。

12:30 痛いのは痛いで。でもしびれも足の裏だけで、今日は足の裏の先の方だけになった。お腹もひねったら痛いくらい(NRS=1~2)。

8月4日

15:00 しびれも足先だけになってきたから、歩きやすい。

8月5日

19:30 食事ちょっとしか食べれなかった。胃が張ったようにつかえるんや。吐き気はない。痛みもない。トイレに行くとガスが出て、汁みたいな便が出る。

レスキュー使用回数：0回

8月6日

9:00 足はマシだが、お腹が張る。

8月7日

17:00 左鎖骨下ポート増設

22:00 傷の痛みはない。お尻が痛くなってきたんや。

左下腹部NRS=0、会陰NRS=2~3の痛み

8月8日

17:00 足の裏が両方ともしびれるようになって注射してマシにな

ったと思ったけど、変わらなかった。

8月9日

17:00 鍼灸治療1診目

左足の裏は全部がしびれ、右足の裏は第1~3指がしびれます。17時頃から怠さが増悪する。

脈診：沈、腎弦

触診：太溪陥凹、三陰交圧痛、右足三里緊張

☆治療部位

<円皮鍼>左八風穴、三陰交、右太溪

21:00 夕食前に起きたらムカッとする感じがあった。

レスキュー使用回数：1回

8月10日

11:30 今日は調子がいい。下腹部の痛みも消えたんだ。

8月11日

8:30 今日は調子がええ。血圧も135~145くらい。

16:30 会陰部痛：NRS=1~2

左下腹部痛：NRS=0

体動時痛：NRS=0

しびれ：右NRS=3、左NRS=6

8月12日

17:00 味覚が出てきた。夕方からしんどくなるけど、今日は調子がいいわ。心窩部痛はガスが貯留した際にいたみがあり、本日はガス貯留が少ないため痛みも少ない。

8月13日

18:00 鍼灸治療2診目

しびれ変わらず。夕方からの倦怠感も楽に。

脈診：脾洪、腎弦。

しびれ：右VAS=32mm、左VAS=48mm

☆治療部位

<毫鍼>太溪、左八風穴、左三陰交

8月14日

18:00 会陰部痛：NRS=1

しびれ：右NRS=3、左NRS=6

疼痛コントロール良好。精神的にもやや安定。

18:00 鍼灸治療3診目

しびれというか、親指側(第一指)ところがツッパリ感がある。なんかね、鍼しとるからマシな気がする。口内炎もあるけど、楽に過ごせています。

脈診：脾・肝洪、腎弦

触診：左上巨虚緊張、右太溪陥凹、左三陰交深部硬結、右公孫緊張

☆治療部位

<毫鍼>左内庭、左外内庭、左侠溪、右太溪、左三陰交

<鍍鍼>右太溪

<円皮鍼>左合谷、左三陰交、右太溪、左内庭、左外内庭、左侠溪、
右公孫

8月15日

18:00 鍼灸治療4診目

しびれは変わらないなあ。でも今日は、右が楽かも。

脈診：肝洪

しびれ：右VAS=18mm、左VAS=43mm

☆治療部位

<毫鍼>右三陰交、右太溪、左上巨虚

<円皮鍼>左三陰交、左合谷、右太溪、左内関

20:00 会陰部痛：NRS=1~2程度

8月16日

10:30 痛み止め効いているから痛くないよ。味覚も戻ってきたし。

17:30 鍼灸治療5診目

足が腫れている気がする。しびれはちょっとマシ。しびれに波がでてきた。明らかに朝起きた時の痺れが、今朝は少なかったわ。

脈診：肝洪、脾滑、腎微弦

しびれ（朝～昼）：右VAS=15mm、左VAS=32mm

しびれ（昼～）：右VAS=20mm、左VAS=34mm

☆治療部位

<毫鍼>左上巨虚、三陰交、右太溪、左内庭、左外内庭、左侠溪

<円皮鍼>太溪、合谷、左太溪

8月17日

20:00 今日は調子が悪い、全身が重だるい感じ。痛いというわけじゃないんやで。

8月18日

13:00 お尻のところが痛いなあ。(NRS=)1くらいやけどね。今日はちょっとえらかったわ。痺れはずっとじゃないんやけど。

レスキュー使用回数：2回

8月19日

6:00 腹がグーッと刺しこむんや…イタタタタタ…。

NRS=3の痛みを訴える。

12:30 あーリハビリか。そうやな。まだ宵は。鍼の人がよう頑張ってくれとる。リハビリオーダーの話を出すも消極的(?)

8月20日

6:30 昨日下剤やめたら、お腹が痛いのなくなったわ。

16:30 鍼灸治療6診目

あんまり変わりません。土踏まずの所がちょっとマシになったかな？ちょっと薬独特の倦怠感があって、ご飯が食べれなかったけど、今日、朝、昼食べれたよ。

脈診：脾洪、腎弦

しびれ（ツッパリ感）：右VAS=15mm、左VAS=41mm

☆治療部位

<毫鍼>左上巨虚、左三陰交、右太溪、左太衝、左内庭、左外内庭、
左侠溪

<円皮鍼>左蠡溝、右太溪、右内通谷

レスキュー使用回数：0回

8月21日

10:00 体がらくになってきました。

18:41 鍼灸治療7診目

さっきえらくなったから薬飲もうと思ったけど、リハの先生に背中さすってもらったらスーッと楽になった。足裏は今朝も楽だった。

脈診：肝弦、腎無力

舌診：紅舌、舌尖紅、白膩苔（舌尖剥落）

触診：右内関緊張、右神門緊張圧痛、右隠白圧痛

しびれ：右VAS=16mm、左VAS=30mm

☆治療部位

<毫鍼>右内関、右神門、左蠡溝、右三陰交、右太溪、左太衝

<円皮鍼>合谷、左通谷、右隠白、右内関、右神門、臑中

20:00 昨日、今日は楽です。

レスキュー使用回数：0回

8月22日

8:00 痛みの訴えなし。便出てない。

18:00 鍼灸治療8診目

調子いい。朝から今までだるい事もなかった。あ、まだ便がでてません。

脈診：脾微弦

しびれ：右VAS=10mm、左VAS=28mm

☆治療部位

<毫鍼>左蠡溝、右三陰交、左内庭、左外内庭、左侠溪

<円皮鍼>右内通谷、右蠡溝

8月23日

14:30 モンキーバナナ3本分排便あり

17:00 鍼灸治療9診目

今日、薬飲まんで、ばっちり便でました。

脈診：腎弦、肝微弦

しびれ：右VAS=17mm、左VAS=28mm

☆治療部位

<毫鍼>左上巨虚、右太溪、蠡溝、左太衝

<円皮鍼>右太溪、右内通谷、合谷、右神門

8月24日

9:00 昨日、便出てスッキリした。

10:00 外泊へ

8月25日
21:30 外泊中、レスキュー使用せず経過

8月26日
21:00 今、一番調子が良い。会陰部 NRS=1
レスキュー使用回数：1回

8月27日
12:30 不安とかないで。会陰部 NRS=1。
17:30 鍼灸治療 10 診目
いつものこっちゃ
しびれ：右 VAS=11mm、左 VAS=27mm
☆治療部位
〈毫鍼〉湧泉、足底圧痛部 2 か所
〈円皮鍼〉内通谷、束骨・京骨の間、合谷

8月28日
8:00 ご飯食べたら、下腹部がズンと痛くなるんやな。CDDP+THP
18:00 鍼灸治療 11 診目
今日は抗がん剤の後からしんどい。左の下腿も硬くなった感じやし。しびれもひどくなった感じ。
しびれ：右 VAS=10mm、左 VAS=30mm
☆治療部位
〈毫鍼〉左上巨虚、左三陰交、左太衝
〈円皮鍼〉左蠡溝

8月29日
14:30 オキシコドン塩酸塩(錠)、アセトアミノフェン(錠)、エトドラクにて NRS=1 と疼痛コントロール良好。
17:30 鍼灸治療 12 診目
調子よく経過してる。検査結果で火曜日に退院予定
脈診：肝渋、腎弦・無力
しびれ：右 VAS=6mm、左 VAS=31mm
☆治療部位
〈毫鍼〉左上巨虚、左三陰交、左太衝、右内庭、右外内庭

21:00 排便なし。
センノシド 3 錠、ピコスルファート 10 滴、プロチゾラム錠

8月30日
15:30 会陰部痛：NRS=1、しびれ：右 NRS=2、左 NRS=6
16:00 鍼灸治療 13 診目
案外調子良い。朝、右の方はほとんど感じなかった。
しびれ：右 VAS=8mm、左 VAS=25mm
☆治療部位
〈毫鍼〉左上巨虚、左太衝、右三陰交
〈円皮鍼〉左三陰交、左内通谷、右行間、右大都、合谷

8月31日
16:00 排便あり。親指 2 本分。

18:00 今日は調子悪い。ご飯はいいわ。便秘と重なる。

9月1日
14:30 排ガスあり。トイレに行く毎に排便少量ずつあり。
18:00 嘔気あり、嘔吐なし。倦怠感著明
レスキュー使用回数：2回

9月2日
19:30 しんどいです。37.3℃ある。

9月3日
20:00 夕食、食べれた。
トイレ歩いても、しんどく感じる。会陰部痛：NRS=1

9月4日
16:00 鍼灸治療 14 診目
今日は調子良い気がします。ちょっと舌の裏の左側が痛い。
ちょっとピリピリするくらいで、支障はないんだけども。
脈診：肝虚、脾渋、腎弦
舌診：紅舌、舌辺剥落
しびれ：右 VAS=14mm、左 VAS=25mm
☆治療部位
〈毫鍼〉右内庭、右外内庭、右行間、左蠡溝、左地五会、左足底圧痛
〈円皮鍼〉右行間、右大都、左太溪、左公孫、左束骨・京骨の間

9月5日
16:30 鍼灸治療 15 診目
今日は気分もよくて、散歩してきました。
脈診：肝弦、腎・細・無力
舌診：紅舌、薄白苔、舌辺荒れ
触診：左上巨虚、左侠溪圧痛、
左蠡溝軟弱
しびれ：右 VAS=5mm、左 VAS=19mm
☆治療部位
〈毫鍼〉合谷、左上巨虚、左侠溪、右太衝、左蠡溝
〈円皮鍼〉右外関

9月6日
17:30 鍼灸治療 16 診目
今日は昨日と同じ感じ、まだ便がでてない。歩いていると奥の方に酷くつっぱるというより重だるい。
脈診：渋、84 回/分
舌診：紅舌、舌尖紅、苔もろもろ
触診：右太溪陷凹、左上巨虚表面緊張・深部硬結、左下腿～足背に
細絡
しびれ：右 VAS=5mm、左 VAS=19mm
☆治療部位
〈毫鍼〉左上巨虚、左三陰交、左膝関、右太溪、左公孫、左太衝、
右内通谷、右臨泣

<円皮鍼>太溪、左蠡溝、左束骨・京骨の間、右内通谷、右外関、
右大都、右行間

9月7日

8:30 ちょっと汗かいてびっくりしました。

10:00 外泊

9月8日

18:30 便が出なかったのが気になってなちよっと張ってきたよう
な感じ。

9月9日

7:30 ちょとずつ出したんやけど、詰まったような感じ。

胃の方へもたれてくる。母指大の排便2個。

9月10日

13:30 便がでました。

17:30 鍼灸治療17診目

今日、洗腸してもらって、便出た

脈診：洪、腎無力

触診：左大腿外側緊張

しびれ：右VAS=3mm、左VAS=27mm

☆治療部位

<毫鍼>左上巨虚、左太衝、左太溪、右三陰交、右公孫、右地五会

<円皮鍼>合谷、太溪、右大都、右行間、左侠溪、左内通谷、

右地五会

9月11日

9:30 本日化学療法4クール目

16:30 腹部ガス貯留あるが、腹壁ソフト。

17:00 鍼灸治療18診目

便がでない。トイレに行ったら塊が2個出た。

脈診：肝洪、沈、腎無力

舌診：紅舌、舌尖紅、薄白苔、口渇あり

しびれ：右VAS=7mm、左VAS=21mm

☆治療部位

<毫鍼>復溜、内庭、外内庭、侠溪、右外関

<円皮鍼>左液門、右復溜、左太溪、右大都、右行間、合谷

9月12日

17:00 便が出ず、お腹の張った感じがひどくなってきました。

(KOT:-2日)

17:00 鍼灸治療19診目

手がちょっと震えた。便がね…出なくなって、胃が圧迫さ
れている感じがする…。

脈診：洪、腎無力

触診：左胸脇部緊張

☆治療部位

<毫鍼>三陰交、左内庭、左外内庭、左侠溪、右合谷

<鍍鍼>隠白、大都、腹部

<円皮鍼>三陰交

9月13日

1:00 前の時よりお腹が張った感じとかひどい。ガスもでてこん。

8:00 オキシコドン塩酸塩(錠)10mg→フェントステープ1mg

8:30 イレウスであることをCTで確認

17:00 鍼灸治療20診目

イレウスチューブを入れたとこなんや。やっぱりつまつと
ったみたいや。チューブ入れたからちよっと楽になった。

足のしびれは少しマシになった。

脈診：肝洪、腎弦

触診：左足三里緊張、左陽明熱感、左下腿細絡

しびれ：右VAS=5mm、左VAS=26mm

☆治療部位

<毫鍼>左足三里、左内庭、左外内庭、左侠溪、左条口、右三陰交、

左外関

<円皮鍼>左外関、左内庭、左外内庭、左侠溪

9月14日

10:00 動けんことはないけど、動くとお腹がクルクルいう。ガスは
でとらん。

9月15日

20:00 排ガスなし。腸蠕動音、微弱だが聴取できる。

9月16日

10:30 お腹のふくらみはマシになりました。便ありますが、
オナラはありません。

21:00 便が出なかったとき3日間、今回、腸閉塞になっ
てしんどかったんが4日間…しんどかった。化学療法
のしんどさどっか行ってくれればいい)のに。

9月17日

8:00 小指大4~5個、便が出てきました

15:30 フェントステープに変更から疼痛コントロール良好。

17:30 鍼灸治療21診目

イレウス管抜きました。

脈診：脾細滑、肝無力、96回/分

触診：胆経緊張(R<L)、左腎経緊張陥凹、右足三里緊張

しびれ：右VAS=7mm、左VAS=22mm

☆治療部位

<毫鍼>左内通谷、臨泣、左太溪、右内関、右足三里、左太衝

<鍍鍼>左内庭、左外内庭

9月18日

15:30 便は昼から少し出た。尿中に黄色いもろもろあり。

腹痛なし。NRS=1

17:30 鍼灸治療22診目

足の裏は変わってないよ。調子ええ。本日は今やり

たいことを語られる

(家の修理、身辺整理、野菜作りなど)

脈診：肝渋、腎細、81回/分

舌診：紅舌、白膩苔(舌中～舌根)

しびれ：右VAS=6mm、左VAS=22mm

☆治療部位

<毫鍼>右上巨虚、左内通谷、三陰交、右太溪、左中封

<円皮鍼>左内通谷、三陰交

9月19日

11:00 ここが膀胱やったところやろ？左側がシワツと痛いんや。

14:30 鍼灸治療23診目

調子がいいので楽な気がする。

脈診：腎弦、脾滑、69回/分

☆治療部位

<毫鍼>左足三里、右上巨虚、左三陰交、右太溪、左中封

<円皮鍼>合谷、三陰交、右太溪、左内通谷

9月20日

20:00 イレウスが再発腫瘍によって生じて起きており、今の状態では食事再開できない。そのため、人工肛門にするしかないと説明する。

9月21日 フェントス2mgにUP。人工肛門設置のため、外科に転科。

9月22日

14:00 午前中、嘔気はないが、腸蠕動にて痛みあり。

午後から緩和している。

9月23日 著変なく、経過している。

9月24日

17:00 経肛門より、イレウスチューブを固定。

18:00 鍼灸治療中止

9月25日

8:00 痛み止めがきいとるんのか、お腹グルグル言ってもちよつとだけ。NRS=1

16:00 鍼灸治療24診目

月末に手術があるんや。人工肛門つけなきゃあかんって…。

でも、1週間くらいしたら楽になると思うし…。

脈診：脾虚やや渋、肝腎無力

舌診：淡白、白膩苔

触診：左腎経深部冷感、太溪陥凹軟弱、左公孫軟弱、左膀胱経緊張、下腿細絡

☆治療部位

<毫鍼>左上巨虚、右三陰交

<e-Q>太溪、左公孫

<円皮鍼>左蠡溝、太溪、左内通谷

9月26日

10:30 会陰部痛、自制内。

16:30 鍼灸治療25診目

あ…うん…昨日と一緒やで。

手術の説明を不安そうに待っている。

脈診：肝腎虚、脾渋

しびれ：右VAS=5mm、左VAS=20mm

☆治療部位

<毫鍼>左三陰交

<円皮鍼>太溪、左蠡溝、左内通谷

9月27日

14:00 グルグルとなったら痛いけどな、楽になる。けど、ガスは出えへんから、ゲップが出とる。

17:30 鍼灸治療26診目

…(5分間沈黙)…。5分後手術に対する不安を語られる。

☆治療部位

<鍍鍼>太溪、右内関、右劳宮

9月28日

11:00 お腹がゴロゴロなったら、ゲップが出る。お腹は痛くない。

9月29日 著変なく、経過している

9月30日 人工肛門設置(OPE)

10月1日

16:30 術後発熱により、鍼灸治療中止

10月2日

16:30 鍼灸治療27診目

傷の所が痛い。左足背辺りが何か熱い気がするんや。

☆治療部位

<鍍鍼>左行间、左内通谷

10月3日

16:30 昼過ぎに低血圧を起こし、トイレから動けなくなり、やつとベッドに落ち着いたところということで、鍼灸治療中止

10月4日

16:30 鍼灸治療中止し、会話のみ行う

18:00 表情穏やか、日中は散歩もしてきて、病棟2週できました。

10月5日

18:00 発熱39.5℃まで。

19:30 服薬にて37.0℃まで軽減する。

10月6日

12:30 創傷部位の疼痛を訴えあり。

10月7日

21:00 不眠および疼痛の訴えあり。

10月8日

15:00 足のだるさを訴える。

15:30 鍼灸治療 28 診目
足の裏は変わらん、酷くはない。けど、足が細くな
った分、皮が弛んで変な感じ。
脈診：脾弦、腎無力
舌診：暗淡白、舌尖紅、白膩苔（舌尖剥落）
☆治療部位
〈円皮鍼〉左太溪、左陷谷、左外陷谷、左俠溪
10月9日
17:00 鍼灸治療 29 診目
足はだるい。足の裏とは別の感じで。検査で歩いて行っ
ても、帰りは迎えにきてもらわないとかなん。足がだるくな
ってしまうんや。
脈診：腎無力
触診：太溪冷感、左陽明経熱感
☆治療部位
〈毫鍼〉足三里
〈円皮鍼〉左行間、左内庭、左外内庭、左俠溪
〈e-Q〉太溪
10月10日
10:00 朝食開始。腹部ソフト。
食後2時間後から水様便、排ガス多い。
17:30 鍼灸治療 30 診目
今日は昨日より元気な気がする。
しんどくても家人が心配するから元気という。
脈診：肝腎無力
☆治療部位
〈毫鍼〉右上巨虚、太溪
〈円皮鍼〉太溪、右大都、右行間
20:00 外の空気すつたら、ムカムカがマンになった。
10月11日
16:00 胃薬を止めてからちょっとお腹張っている。腹部膨満感持
続、悪心はない。
16:30 鍼灸治療 31 診目
ここの先生は話やすく、真面目で安心です
脈診：腎微弦、無力
☆治療部位
〈鍢鍼〉上巨虚、太溪、左太衝
10月12日
10:00 便は出ている。お腹は少し張るかな。
10月13日
9:30 上腹部に不快感あり。
10月14日 著変なく、経過している

10月15日
17:30 鍼灸治療 32 診目
歩いたらしんどい。ちょっとムカムカするんや。
脈診：滑、72回/分
触診：左不容圧痛
しびれ：右VAS=12mm、左VAS=30mm
☆治療部位
〈毫鍼〉左湧泉、交信、右太衝、右公孫
〈円皮鍼〉左不容、交信、左内通谷
10月16日
10:00 おさえると痛い。水分やら飲むと胃がもたれする。
17:00 鍼灸治療 33 診目
足の裏は変わらん。右の方はほとんど感じない。
しびれ：右VAS=7mm、左VAS=24mm→治療後：VAS=15mm
☆治療部位
〈毫鍼〉左湧泉、左足三里
〈円皮鍼〉左気戸、左俠溪、左通谷
10月17日
8:30 重湯飲んでもムカムカしなかった。
15:00 鍼灸治療 34 診目
寒いため、調子悪い。ムカつきは食後30分でしとったのが、
2時間以上経っても軽くきたくらい。足の裏も今日はほと
んど感じなかった。
脈診：腎弦細
舌診：淡白、白膩苔、舌尖紅
しびれ：右VAS=5mm、左20mm
☆治療部位
〈鍢鍼〉左太溪、左足三里、左湧泉
10月18日
15:30 重湯しか食べられん。プリンとかゼリーの方が美味しいん
やけど、胸焼けする。
16:30 泌尿器に転科直後で疲労感が強いので、鍼灸治療中止。
10月19日
21:30 ジュース（エンシュア）飲んでも胸焼けしてなあ。
胃薬飲んだんや。
10月20日
21:00 前はプリンも食べれなかったけど、1時間後に胸焼けする
もプリン食べられるようになる。
10月21日
10:00 会陰部痛：NRS=1、足底は著変なく、軽度痺れを訴える。
10月22日
9:30 昨日の朝から排便なし。
15:30 鍼灸治療 35 診目

特にかわりませんよ。しびれも調子よい。

脈診：脾虚、肝腎無力、細、102回/分

しびれ：右VAS=7mm、左VAS=20mm

☆治療部位

<鍼鍼>左湧泉、右然谷、右交信、右地五会、右太衝

<円皮鍼>左内通谷、左通谷、左然谷

21:00 元気になってきたが、寝てるんがしんどい。

10月23日

16:00 食べた後も、ムカつくこともない

17:30 鍼灸治療 36 診目

今日も少し歩いたよ。あまり変わらんけど、歩いた時に気にならなくなった。

脈診：脾滑、腎無力、肝弦

舌診：淡紅、舌根部厚苔、舌尖紅

☆治療部位

<毫鍼>右公孫、左太溪、右行間

10月24日

2:30 ガス出とるから、張った感じはない。

6:00 胃付近に圧迫感を訴える。

17:00 鍼灸治療 37 診目

今日は便がでてないから、しびれよりもそっちばかり気になってた。

脈診：腎弦、肝微弦

☆治療部位

<毫鍼>左上巨虚、左太衝、右三陰交

21:00 便が出てないで心配したけど、今、少し出た。

10月25日

15:30 便が出たし、ご飯が美味しかった。

17:00 鍼灸治療 38 診目

お昼過ぎに便出た。もともと便秘症であったんや。
2~3日に1回とか、酷い時は1週間に1回やった。

脈診：滑、78回/分

舌診：紅舌、舌尖紅、白膩苔

しびれ：右VAS=5mm、左VAS=17mm

☆治療部位

<毫鍼>左復溜

<円皮鍼>左内通谷、左地五会、左公孫

10月26日~27日 外泊

10月28日

16:00 寝とるだけだからかもしれんけど、病院ベッドが硬くてしんどく感じたわ。家の方がやっぱりいい。

10月29日 退院

※以後、外来にて経過観察。その際、鍼灸治療は介入せず。

12月14日 悪寒戦慄、胸部不快感にて再入院

12月16日 逝去

【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価

しびれに対して介入した結果、1診目右VAS=32mm、左VAS=48mmであったところが、介入後から日内変動がみられ、鍼灸介入最終日には右VAS=5mm、左VAS=17mmとほとんど感じなくなったことから、著効と診断した。

一方、整腸に対しては鍼灸により腸蠕動音確認できるも、腹膜播種による腸閉塞が起こってしまい、人工肛門設置に至ったことからやや有効と評価した。

- 患者コメント

調子がよいというコメントが多々認められた。

- 家族コメント

今でも笑ってるみたいで。色々お世話になりました。

- 医師・看護師・医療スタッフの印象

患者からの信頼が得られており、スタッフ側で聞けていなかったことを鍼灸師側で聞けている事があった。

【総括】

本症例は膀胱摘出後より発症したしびれと、整腸に対して行った。愁訴に対する鍼灸治療効果は、しびれ：著効、整腸：やや有効とした。その他にも化学療法による全身倦怠感を訴えることもあったが、鍼灸治療後は改善が認められた。癌に直接関係する痛み、むかつきは医療スタッフに訴えることはあったが、「こっちがしびれるとか、あっちがおかしいとか、しょうもないことを言えるのは、鍼灸の先生にしか言えん。こんな大した事ないこと言っても、迷惑やしな」と医療スタッフに気を使う面も見られた。

脈を始め、舌、爪、皮膚など些細な所見から治療方針を決める鍼灸治療であるからこそ、聞き出す情報が多く、そのため、医療スタッフとは別の信頼を得ることができたのではないかと考える。この患者もまた、「この人（妻）が倒れたら、かなん。心配なんや」と、訴えられ、院内での家族のケアのための鍼灸治療室ができることを希望されていた。

【患者】48歳、女性

【既往歴】膵体部癌、多発肝転移

(T4 N3 M1 stageIVb)

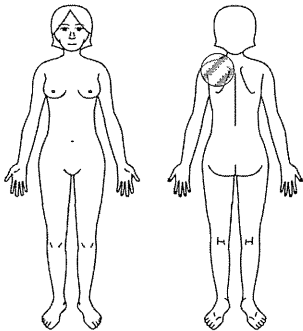
【病態】膵体部癌

【ターミナル期】ターミナル中期～後期

【現病歴】

X年5月、背部痛を訴え、A病院を受診。検査の結果、膵体部癌と診断。入院、EUSFNAで腺癌と診断される。入院後、GEM(1400mg 3投1休)開始。軽度の嘔気で大変な副作用なし。2クール目より外来でフォロー。

7月、腹部CT：原発巣軽度縮小も。肝転移巣増加、増大。また全身倦怠感あり。家人の事情により7月25日から本院でフォロー。TS1への変更を提案したが、余命を抗癌剤の負担なく、過ごしたいとのことでBSC疼痛コントロールに。1人の時間が多かったことによるストレスがかなり強かったのが影響。



【服薬状況】

ラベプラゾール(胃酸を抑制)→エソメプラゾール、

追加：プロクロルペラジン(精神薬・嘔気止め)

レスキュー：オキシコドン塩酸塩水和物(散)2.5mg

8時間ごと：ロキソプロフェンNa

マグミット1回3錠、プレゼニド(7月25日)、リンデロン4mgに増量

【鍼灸治療目的】

検査をしていないため、不明ではあるが、癌転移による左肩甲間部痛の可能性もあったが、患者自身が服薬量をできるだけ抑えたいという思いから鍼灸治療が依頼された。

【東洋医学的所見】

声小さく、黄疸著明、太溪軟弱、痛みの性質：どこかで引っ張られているような重だるいようなズキズキするような痛み。口渇あり。脈診：虚、腎無力。

【弁証】左手太陽・少陽小腸経絡病、肝血虚、腎気虚

【鍼灸介入期間】日間

【鍼灸治療回数】4回/週、5回

【転帰】逝去

【鍼灸治療最終日～転帰】2日間

【評価】評価説明するが理解が得られなかったため、医療スタッフによる印象評価をカルテから抜粋し、評価とした。

【鍼灸治療最終評価】

1)左肩甲間部痛：有効

【治療経過】

8月9日

5:00 背中がピリピリしてきた気がする。

じわじわ怠くなるんです。

8:00 少し便が出たので少しすっきりしています。左肩が起きる時に痛みます(NRS=9~10)。食事3割摂取できている。

17:30 フェントステープ1mg→2mgに変更

レスキューはオキシコドン塩酸塩水和物(散)5mg

21:00 痛み：NRS=2~3ぐらい

21:00 痛み：NRS=4~5

23:00 レスキュー効いておらず、痛みNRS=7~8の痛みが続く。

8月10日

7:30 ロキソプロフェンナトリウムは長く効くんですけど、何やったかな…オキシコドン塩酸塩水和物(散)はすぐに効くけど、持続しない感じです。(フェントステープ2mgに増えましたが?) どのやろ?昨日は3時まで眠れた気がします(NRS=4~5)。

8:00 夜間疼痛あるため、オキシコドン塩酸塩水和物(散)5mg→10mgに増量する。

16:00 午後から痛みあり。肩甲間部：NRS=6~7、腰背部：NRS=4~5。14:10にレスキュー使用すると14:30には半分に軽減。その後、NRS=1に。30分ずらして2包飲んでもらうことにする。

22:00 痛くって(NRS=7)。

23:00 NRS=4に落ち着く。

レスキュー使用：5mg×2回、10mg×1回

8月11日

8:31 夜間は痛みなく過ごせました。

10:01 痛み?痛みは(NRS=)2くらい。

19:54 NRS=4の腹痛あり。起き上がるとNRS=8に増悪。レスキュー使用后NRS=2まで落ち着く。

レスキュー使用：1回

8月12日

10:00 長く話をしていると息が上がってきます。右側から起きるのは楽だけど、左向きから起きようと思ったら左肩が痛いんです。23時にロキソプロフェンナトリウムを服薬しているので、3~4時間寝ています。持続するような痛みではない

ので、ロキソプロフェンナトリウムで大丈夫そうです。

8月13日

10:00 昨日は眠れました。23時にロキソプロフェンナトリウムの
んで、4時半まで痛みで起きることもなかったです。

16:30 鍼灸治療1診目
訪室時、ベッドに横になっていたが、説明時は座位になら
れる。さっきレスキュー飲んでしまったんだけど、しんど
くて。薬飲んででも何か痛いんです。どんな痛み？ん〜…ズ
ーンとした感じです。何とも言えない痛みです。今も痛い
(VAS=77mm)。

鍼灸治療中：【本人】あ、何か気持ちいい、ぼわ〜として、温かい感じ
です。あ〜気持ちいい。これならまた受けたい。

【娘】さっきより声が元気になったやん。【本人】うん。何
か楽。いいよ。これ。何かあったら、鍼してもらおうといい
わ。と娘に対して言われる。治療中は息切れなく、笑みが
認められた。

脈診：虚、腎無力

痛み：VAS=77mm→治療後：VAS=55mm

☆鍼灸治療

<毫鍼>左外関、左太溪、左地五会

<鍤鍼>左肺兪、太溪

<円皮鍼>左太溪、左肺兪

17:00 さっき鍼灸さんがきてくれました。めっちゃ気持ちよかった。
あれ、やった方がいいですよ。そんなに痛くなかったし。

21:30 痛みは(NRS=)1か2。鍼灸してもらったらぼわーとした
感じがします。レスキュー使った後に来られたので、どっ
ちが効果あったかわからないんですけど、足にもしてもらいま
した。痛み：背部 NRS=1~2、動作時 NRS=6~8

レスキュー使用：2回

8月14日

8:30 鍼灸は、気分転換になりました。

16:30 鍼灸治療2診目
痛みが前より、明確になってきた感じがします。右腕も動
かすと連動しているのか痛みます。薬飲んだから痛みがあ
まり良く分からないけど。

治療後：痛みがある時、全身に力が入ってる感じがするんですけど、
はあ〜なんか鍼灸してもらったら脱力。緊張が解ける感じ。

脈診：虚、細、肝弦、腎無力

舌診：淡白、薄白苔、舌下静脈怒張

痛みの部位前回より1cmほど下になる

痛み：VAS=61mm→治療後：ウトウトしてとれず。

☆治療部位

<毫鍼>外関、左三陰交、右上巨虚

<鍤鍼>太溪、太衝、左神門、左厥陰兪

<円皮鍼>左厥陰兪、左外関、左肩井

20:00 鍼灸の後、ちょっと楽になった気がします。やっぱり動い
た時はちょっと痛みますが。

レスキュー使用：5mg×4回、10mg×2回

8月15日

6:00 夜中は少し眠れました。2~3時間でも眠れると楽ですね。

左肩：VAS=40mm、背中：VAS=58mm

16:30 鍼灸治療3診目

痛みの場所が明確になりました。ちょっとずつ変わってき
ますよね。時々脇の方まで帯状に痛みがある。

脈診：肝弦、腎無力

舌診：淡紅舌、白膩苔、舌尖紅

☆治療部位

<毫鍼>右臨泣、右上巨虚、左復溜、左後溪

<鍤鍼>左肺兪、左心兪

<円皮鍼>左肺兪、左心兪、左地五会、左後溪

18:30 シャワー中に痛み増悪。

痛み：VAS=96mm

20:00 痛みは続いています。動いた後は特に痛くなります。

痛み：腹部 VAS=25mm、左肩 VAS=71mm

レスキュー使用：10mg×4回

8月16日

9:00 フェントステープ 3mg に増量、ロキソ[®]プロフェンナトリウム 40mg に増量

17:25 鍼灸治療4診目

動作時で痛みがでるが、安静時の痛みほぼ消失。鍼をして
いるとポワンと温かくなってくる。

☆治療部位

<毫鍼>左三陰交、左太溪、右太衝、左上巨虚

<鍤鍼>左肺兪、左厥陰兪、左肝兪

<円皮鍼>左外関、左合谷、左復溜、左厥陰兪、左臨泣

18:00 こうやって痛みを癒そうしてくれる専門家の方があり、
子供たちが傍にいて、そんなことに今幸せを感じます。

レスキュー使用：4回

8月17日

16:00 肩が痛くて身の置き場がない。勘弁してって感じ。

17:30 肩甲骨の痛みが来るのが怖い。フェントステープ[®] 4mg、オキシコド
ン塩酸塩水和物(散)20mg に増量する。

レスキュー使用：10mg×3回、20mg×2回

8月18日

2:00 オキシコドン塩酸塩水和物(散)増えたから眠れると思う

10:00 プレガバリン 25mg→75mg に増量

レスキュー使用：10mg×2回

8月19日
17:30 プレガバリン効いているのか痛みマシです。でも副作用なのかフラフラする。

レスキュー使用：10mg×2回

8月20日
17:30 鍼灸治療5診目
抜けたから痛くない…と言うわけではなくて…。ろれつ回らず目もトロンとして視点合わず。鍼灸治療中から入眠

☆治療部位

<毫鍼>右臨泣、左太衝、右膝関、左太溪、左三陰交

<鍣鍼>右太衝、左外関、右合谷

<円皮鍼>左後溪、左太溪、左太衝

レスキュー使用：10mg×2回

8月21日
7:30 オキシドン塩酸塩水和物(散)前回6時間前に使用したと伝えると「では飲みます」と。

13:30 スイカ4切れ、メロン2切れ咽なく食されている。

17:00 状態悪く鍼灸治療中止

レスキュー使用：10mg×3回

8月22日 逝去

【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価
1 診目治療前後でVAS=77mm→VAS=55mmまで改善が認められた。
- 患者コメント
1 診目から「気持ちがいい」「温かい」とコメントが得られた。
- 家族コメント
1 診目、訪室時患者の声が弱弱しく聞き取れないくらいだったが、治療後には「さっきより声に力あるやん」と娘からも言われていた。
- 医師・看護師・医療スタッフの印象
どれだけ効果があるか分からないが、気持ちがいいと語る

【総括】

本症例は左肩甲間部痛に対し、鍼灸治療介入した。結果、治療前後では痛みの軽減が認められたが、継続的な効果は得られなかった。患者コメントも考慮し、それらの点から継続的效果はなかったが、有効と診断した。しかし、愁訴に対してだけでなく、鍼灸治療中「気持ちがいい」と安心感を与えられていた。この患者は本研究で行っている軽微な刺激を好んでおり「こういう治療ができるところが分からないし、病院でやってもらえると安心して受けられます」といったコメントがあった。本症例からは、毫鍼だけでなく、鍣鍼の技術を有し、技術を使い分ける鍼灸師を教育する重要性を痛感した。

20130014 (NO. 64)

【患者】78歳、男性

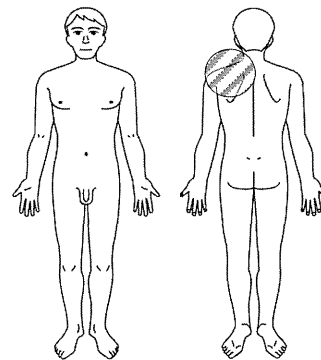
【既往歴】転移性脳腫瘍 (stage III)

【病態】肺癌 (腺癌)

【ターミナル期】ターミナル中期～後期

【現病歴】

X-2年3月、CT下にて生検した結果、腺癌の可能性あり。頭部MRIでも頭蓋内に転移を疑う像、腎機能障害もあり、化学療法をせず。原発および、転移巣も当初の予想よりも増加のスピードは遅い印象。マーカーはCEAが上昇。画像からの長径90mm程度。(X-2年11月では81mm)、脳MRI(X年5月)右後頭葉の像はなし。気管チューブがあるため、発語はする時としない時がある。



【服薬状況】

X-2年11月、ステロイド開始(少量にて)。12月で中止。X-1年7月、倦怠感の症状が現れたため、再開する。

X年7月、オキシコンチンを開始する。

【鍼灸治療目的】

肩背部痛に対し、鍼灸治療を依頼される。

【東洋医学的所見】

左肩甲間部に重だるい痛みあり。脈診：腎弦、肝渋。下腿細絡。左外関緊張、神門軟弱、左前谷圧痛

【弁証】左手少陽経絡病、血瘀

【鍼灸介入期間】12日間

【鍼灸治療回数】4回/週、6回

【転帰】退院

【入院期間】3日間

【評価】評価説明するが理解が得られなかったため、医療スタッフによる印象評価をカルテから抜粋し、評価とした。

【鍼灸治療最終評価】

1) 左肩甲間部：著効

【治療経過】

8月21日

18:00 鍼灸治療1診目

左肩甲間部に重だるい痛みがある鍼灸治療経験があ

るが、鍼灸は信じていない。

脈診：腎弦、肝洪。下腿細絡

触診：左外関緊張、神門軟弱、左前谷圧痛

☆治療部位

<毫鍼>左三陰交、左太溪、左行間

<円皮鍼>左前谷、左外関、左心兪

レスキュー使用：3回

8月22日

18:00 鍼灸治療2診目

変わらんなあ。今は薬が効いているから、そんなに痛くない。右手動かしたり体重かけると痛みが走る時があるんや。

右三角筋前縁中央に痛みを訴える

脈診：肝やや洪

触診：右魚際圧痛、左後溪緊張、左心兪圧痛、左肺兪圧痛

☆治療部位

<円皮鍼>左後溪、左肺兪、左心兪、右魚際

レスキュー使用：3回

8月23日

6:00 眠れんし、イライラする。コンチンくれ。

8:00 肩背部痛 VAS=60mm

11:00 朝に呼吸苦あり、疼痛もやや強め。鍼灸の効果は右腕の痛みに効果があるよう

17:30 鍼灸治療3診目

右の腕の方はよう効いた。右の肩の外側が痛い。

脈診：脾弦

触診：左後溪緊張、右外関緊張、右合谷緊張

☆治療部位

<毫鍼>左後溪、右外関、右肺兪

<円皮鍼>左後溪、右合谷、右外関、左厥陰兪、左手三里

20:00 肩背部痛 VAS=2mm

8月24日

8:00 NRS=1~2程度。深夜帯レスキュー使用なし。

20:00 NRS=2~3の痛みを訴える。

8月25日

10:30 まあ、眠れた。乾燥したらつまってしまわないか不安。吸入後さらさらとした痰がでる。痛みは左胸と左肩甲骨の所。

痛み：VAS=28mm。

14:30 痛み：VAS=26mm。安定している。

レスキュー使用：3回

8月26日

6:00 胸の痛みは大丈夫。肩甲骨が痛いからシップ貼って。

痛み：VAS=32mm

レスキュー使用：2回

8月27日

16:30 ここ1カ月は今一つ積極性がない。

レスキュー使用：2回

8月28日

17:30 鍼灸治療4診目

右肩、左肩甲間部に痛みはない。

☆治療部位

<円皮鍼>後溪、右外関、左手三里、左三陰交、右太溪

レスキュー使用：2回

8月29日

5:30 夜間はまあまあ眠れた。

17:00 鍼灸治療5診目

調子良い感じ。右肩のところがキリキリ痛むことも。

脈診：脾やや洪、腎虚・無力

☆治療部位

<毫鍼>右合谷、右後溪、右三陰交

<円皮鍼>左後溪、右合谷、左神門、右内関

レスキュー使用：4回

8月30日

10:00 今日は調子があえ。鍼灸はちょっといいみたい。

16:00 鍼灸治療6診目

右肩後面が痛い。昨日よりはマシ。

☆治療部位

<毫鍼>右外関、右裏三里、右太溪、行間

21:00 呼吸苦、痛みは訴えない。ニコニコされている。

8月31日

8:00 使っていない。深夜帯レスキュー使用なし。

レスキュー使用：2回

9月1日

8:00 呼吸苦あり。左肩痛：NRS=2~3。

18:30 疼痛の訴えあり。

レスキュー使用：2回

9月2日 退院

【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価
- 肩甲間部痛は VAS=60mm 近くの痛みがあったが、以後 VAS=2~32mm (NRS=1~3) と痛みに波が始め、最大疼痛も以前ほどではなくなったことから、改善傾向が認められた。また、治療直後には完全に除痛できていたことから著効と診断した。
- 患者コメント
3診目、右肩は効果あった

● 家族コメント

特記なし

● 医師・看護師・医療スタッフの印象

投薬量も増量しており、何が効果的だったかは不明だが、治療後から落ち着いている。自立心を尊重してもらえたり、安心感が得られるなどの効果があったのではないかと。

【総括】

本症例は、肩背部痛に対して行った。コミュニケーションに限りがあるため、わずかな情報の中で行っていた。

鍼灸治療を過去に経験していたが、「鍼灸は信用していない」と1診目に言われていたが、予定時間を少しでも遅れると「まだこないのか」と看護師に確認されており、楽しみに待たれている姿が見られていた。

鍼灸治療を受けている平日は状態が良いが、休日では呼吸苦や疼痛の訴えが多い印象にある。

また、医療スタッフから「治療後から落ち着いている（痛みを訴えない）」というコメントからも、愁訴である痛みだけでなく、精神的安定にも効果があったと考え、著効であったと診断した。

20130015 (NO. 65)

【患者】93歳、男性

【既往歴】高血圧、肺気腫、胸部湿疹、胆嚢結石、慢性気管支炎、便秘

【病態】前立腺癌（H4に舞鶴共済）

【ターミナル期】ターミナル前期

【現病歴】

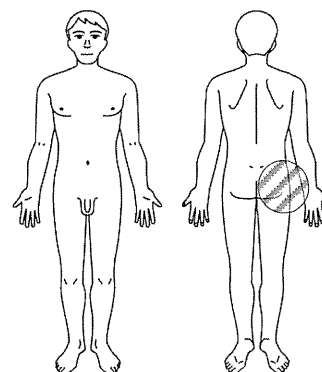
8月3日の3時半にトイレに行く際、転倒し、動けなくなった。家族が6時ごろに発見し、A医院に受診した結果、骨折の疑いがあり、緊急要請された。もともとADL自立。

【服薬状況】

特記なし

【鍼灸治療目的】

転倒後より痛みが続く、右大腿部痛に対して、患者本人からの依頼があり、開始する。



【東洋医学的所見】

脈診：腎無力、触診：右足三里緊張、右足背軽度浮腫。疼痛部位は臥位で圧迫かけても再現されず。膝の屈曲運動にて痛みを訴える。右足陽明経熱感あり。

【弁証】右足陽明経絡病

【鍼灸介入期間】8日間

【鍼灸治療回数】4回/週、5回

【転帰】退院

【入院期間】3日間

【評価】評価説明するが理解が得られなかったため、患者コメントおよび、医療スタッフによる印象評価をカルテから抜粋し、評価とした。

【鍼灸治療最終評価】

1)右大腿部痛：著効

【治療経過】

8月23日

10：00 右下肢痛あり。

鍼灸治療を希望する。

17：30 鍼灸治療1診目

2週間前にトイレに行こうとして、デーンとこけてしまっ

たんだ。この、右の足の付け根を何とかしてほしい。

脈診：腎無力

触診：右足三里緊張、右足背軽度浮腫

☆治療部位

<毫鍼>右足三里、右陥谷、右外陥谷、右臨泣、右復溜、左行間

<円皮鍼>右陥谷、右外陥谷、右臨泣

8月24日

14:30 まだ足はガクツとなる。右下肢に力が入りにくいとのことだが、ふらつきなく歩行できている。

8月25日

14:30 ぐるっと1周歩くんはまだちょっと…。足の付け根が痛いんや。鍼灸は効くと思うとるんや。続けてしてもらわな、あかんと思うわ。

8月26日 著変なし。

8月27日

14:30 右足が痛いで動きにくいんや。

17:30 鍼灸治療2診目

やっぱり、一回じゃなかなか痛みとれんな。足の付け根んとこと裏側が痛い。(大腿後面に痛み)

☆治療部位

<毫鍼>臀部圧痛点

<円皮鍼>右内庭、右外内庭、右臨泣、右内通谷、右復溜、右行間

※鍼灸治療後「よい感じや!」、痛み消失。

8月28日

15:00 やや強引な歩行をしている。

18:00 鍼灸治療3診目

痛みはあの後からなかったんやけど、トイレに立った際にどっか膝の上らへんでズキーンとした。

脈診：脾滑

☆治療部位

<毫鍼>右足三里

<円皮鍼>右梁丘

※鍼灸治療後、足の動作時痛軽快する

8月29日

17:30 鍼灸治療4診目

足の上げ下げは簡単にはできない。あと2回しかしてもらうチャンスがない。もう、この痛いん所にさしてくれ! 右腓腹筋に強い緊張あり。本人希望により、圧痛点を先に行い、改善しなかった場合四肢末端を使用する。

☆治療部位

<毫鍼>右臀部圧痛点4か所、右足三里、右陥谷、右外陥谷、右地五会、右三陰交、右漏谷

※本人希望で局所を行うも痛み改善せず。四肢の経穴使用したことで、「上出来や!」とのこと。

8月30日

16:00 鍼灸治療5診目

痛みは前進するより後退しとる。局所を希望されるが、了解を得て四肢末端を使用する。

☆治療部位

<円皮鍼>右内庭、右外内庭、右行間、右臨泣、右復溜、右通谷、右内通谷

※鍼灸治療後、痛み消失

8月31日

10:00 歩行器にて、歩行できている

13:30 安定し、ふらつきはないが、時々躓いている。

9月1日 痛み訴えることなく、経過できている。

9月2日 退院

【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価
説明するも理解されなかったため、使用せず。
- 患者コメント
治療直後：痛みなし
- 家族コメント
特記なし
- 医師・看護師・医療スタッフの印象
痛みを訴える事なく過ごされている日もあり

【総括】

本症例は癌性疼痛ではなく、膝痛に対して行った。末梢経穴を使用して治療を行っていたが、患者自身は直接刺して欲しいという希望があったため、一度希望に沿って行った。結果、直後満足感は得られたものの、翌日には痛みは変わらなかったまたは痛みが増したため、再度末梢経穴で行ったところ、改善が認められたことから、著効と診断した。

これらからも、満足度の高い局所治療のみならず、末梢経穴を使用した効果的な治療法ができなくてはならないと考える。